

H30.10.20 第4回 函館市医療・介護連携多職種研修会

アンケート集計結果 分析

n = 231 (回収率 75.5%)

1. 所属機関をお聞かせください。

・病院	53	(22.9%)
・診療所	10	(4.3%)
・歯科診療所	8	(3.5%)
・薬局	12	(5.2%)
・地域包括支援センター	20	(8.7%)
・居宅介護支援事業所	31	(13.4%)
・介護保険事業所	34	(14.7%)
・その他	58	(25.1%)
・無回答	5	(2.2%)

2. 職種をお聞かせください。(複数回答可)

・医師	6	(2.5%)	・栄養士	7	(2.9%)
・歯科医師	9	(3.7%)	・柔道整復師	7	(2.9%)
・薬剤師	12	(5.0%)	・鍼灸師・マッサージ師	11	(4.6%)
・保健師	10	(4.1%)	・介護支援専門員	47	(19.5%)
・看護師	50	(20.7%)	・相談員	30	(12.4%)
・リハビリスタッフ	15	(6.2%)	・事務員	6	(2.5%)
・歯科衛生士	9	(3.7%)	・その他	22	(9.1%)

3. 開催日時(土曜日の午後)はいかがですか？

・良い	190	(82.3%)
・どちらともいえない	39	(16.9%)
・良くない	2	(0.9%)

【ご意見等】

- ・午前中勤務し、昼食時間や移動時間も含めて良いと思いました。
- ・ちょうど良いです。駐車場がなかったのが困りましたが、次から気をつけます。
- ・希望を言ったらキリがありません。
- ・時間をゆっくりと使える。
- ・駐車場の問題。(とめられない、有料パーキング利用)
- ・平日希望。
- ・先生方に参加していただき、ご意見をいただけるのであれば、この日程で致し方ありません。
- ・土曜日でも構わないが、ホテルでは宿泊が多かったりし、駐車場が少ないことがないように望みます。
- ・眠気がある。
- ・ゆっくり話せるから。夕方6時以降だと仕事後だと疲れている。
- ・もう少し時間に余裕がほしかったです。
- ・医療関係者の都合に合わせてと仕方がないと思う。
- ・土曜日の方が時間がある。
- ・日曜日より土曜日でよいと思います。

4. 研修会を受講し、ご自身の理解は深まりましたか？

・深まった	220	(95.2%)
・どちらともいえない	7	(3.0%)
・あまり深まらなかった	2	(0.9%)
・無回答	2	(0.9%)

【ご意見等】

- ・多職種での話し合いができ、良かった。
- ・多職種からの意見を聞くことができ、得ることは多かったと思いますが、時間が短すぎて話し合いや意見交換が十分に行えませんでした。
- ・オープンカンファレンスにも一度だけ参加したことがあるが、積極的に今後出席してみたいと思った。
- ・他施設、機関の状況がわかってよかった。
- ・グループワークの時間が短かった。
- ・多職種の方々の意見や経験を聞けてよかった。
- ・医師を含め様々な職種の方とお話することができました。
- ・看取りのチームに選ばれることに感謝して支援をしたいと思いました。
- ・実際に訪問診療されている先生のお話を聞かせていただき、勉強になりました。
- ・医師の方々のお話に心がとてもほっこりとし、看取りについて再度考える時間になりました。
- ・多職種の方と意見交換でき、「その立場」の考え方、とらえ方を理解が少しでき、良かったです。
- ・ターミナルケアにおける医療・介護連携の不可欠さ、重要性を再認識しました。
- ・グループメンバーの日頃の取り組みを聞いたこと、意見交換会で先生方の考えを伺え、とても参考になった。
- ・深まる一方で、多職種の方々とチームで動くことに難しさも感じました。
- ・他職種でグループワークすることで、それぞれの立場で考えることの大切さを改めて感じました。
- ・看取りに関わる医師のお話が聞いたのはとても良かった。
- ・いつをもって看取り期と決めるのですか。誰が決めるのですか。
- ・「看取り」に関してはよくわからないことが多かったのですが、今回の研修会である程度理解できました。(もちろんまだまだわからないことはあります)
- ・業務上看取り患者をみることはないが、多職種の方々と知り合い、連携を取ることで柔整師としても介入できることがあると思えた。
- ・看取りの難しさをさらに感じましたが、多職種の皆さんと話し合えたことがとても良かったです。
- ・先生の話の直接聞くことができ、とても勉強になりました。
- ・老健施設での看取りについてを確認できた。イメージは、在宅へ戻ることのイメージを強く依頼していなかった。しかし、特養の役割になり、施設との区別がなくなるのか？
- ・今までは病院で看取っていた方を在宅で看取ることができたら良いと思う。
- ・シンポジストのご講演、とても良かったです。座長の川口先生のお話、司会も勉強になりました。グループワークの意見も参考になりました。

5. 今回のような介護関係者向けの研修会を続けてほしいですか？

・続けてほしい	224	(97.0%)
・どちらともいえない	5	(2.2%)
・続けなくてもよい	1	(0.4%)
・無回答	1	(0.4%)

【ご意見等】

- ・ 1年に1回程度。
- ・ これだけの規模で多職種が集まる機会があまりないので続けてほしい。
- ・ 医師とは話しにくいので、このような機会は大変ありがたいです。
- ・ とても勉強になりました。
- ・ 多職種研修, 大好物です。グループワーク, 大好物です。
- ・ 他の職種を理解でき, 連携を行っている事例等, 聞けてよかったです。
- ・ 医師の話を書くことがないので, 聞ける場があって良かった。
- ・ 多職種と出会える貴重な場です。
- ・ 小・中規模研修会もよいですが, 今回のような大規模も, 実は内容が濃く, とても勉強になりました。
- ・ 今後も続けてほしい。

6. 今後, どのような内容の研修会を希望されますか？

【具体的な内容等】

※別紙をご覧ください。

7. その他, ご意見

※別紙をご覧ください。

6. 今後、どのような内容の研修会を希望されますか。

- ・ 医療⇔介護のやりとりで問題、トラブルが起きるケースについて。
- ・ 医師以外の職種でもこのような研修があると良いと思いました。
- ・ ACPの研修会。
- ・ 函館市全体で問題視されていること。高齢化、認知症、在宅医療、介護力不足など。今回の看取りについても、もっと話し合う時間をつくっていただき、再度開催していただくこともありがたいと思います。
- ・ グリーフケアについて。
- ・ 顔が見えなくてもスムーズな連携がとれるシステムに関する研修会。
- ・ 情報共有と個人情報の扱い方。
- ・ 薬剤師として医療現場で他職種の方と触れ合う機会がないので、今後色々な研修に参加してみたいです。
- ・ シンポジストに多職種を招いてほしい。
- ・ このように顔の見える会はいいと思う。つながりが大事だと思う。
- ・ シンポジストに質問できる形式、すごく良いと思います。
- ・ グループワーク不要。
- ・ 事例検討会。
- ・ 多職種のグループワークはいつも参加していますが、他の職種の方の話が聞けるので続けてほしいです。
- ・ 事例検討会。
- ・ 福祉職員のストレスについて。
- ・ 医療との連携について、引き続きお願いいたします。
- ・ 地域での看取りケアをもっと深く勉強したいです。どのように、事例等を通して。
- ・ 看取りの事例、他職種の役割。
- ・ 看取りについて、やはり介護員の不安や重さをどのようにしていきたいか、また、どのようにすることが良いのかと思っています。
- ・ 多職種それぞれが理解が深まるような研修。(連携を行っている事例等)
- ・ 精神疾患、クレーム対応。
- ・ グループワークが時間がなく、まとめづらさがもったいなく感じました。なかなか多職種の方からの意思や思いを聞けることがないので、もう少し進めやすい方法でやっていただけたらと思いました。
- ・ クレーム対応。自分の身内(入所者)をなんでも一番に介護してほしい。(待たせない、ナースコールにすぐ出る、言ったことをすぐにやってほしい、気に入らない介護士の配置転換要求など)
- ・ 引き続き、「看取り」・「在宅医療」お願いします。
- ・ 今回のような多職種の方と意見交換できる場がありがたいです。
- ・ 職種別にテーブルを囲んでみるテーブルをつくってみてもいいかも。
- ・ DNRについて。
- ・ 難病の在宅支援。
- ・ 地域別などの小さなグループでの研修会があればと思いました。
- ・ より小規模での事例紹介もあるグループワーク中心で、特に看取りケア(プラン)についての会を望みます。
- ・ 医療(病院Dr)が参加する機会。指示を出すのは医師であるので、偉い偉くないに関わらず、制度で決まっている指示書を迅速に対応していただくために。
- ・ 同じターミナルでも退院時の多職種連携の視点でも考える研修がいいです。(カンファレンスの注意点、進行等)
- ・ 救急搬送に関わる介護施設と医療との連携に関する内容。
- ・ キーパーソン不在の在宅ケア、施設ケアの実情。(高齢夫婦、他親族なく、介護者も要介護者のケースなど)

- ・ 障がい者施設の方のお話や、小児病棟のスタッフのお話など、自分と関わりの少ない医療(介護)のお話も聞いてみたい。
- ・ 多職種連携という視点から見て、それぞれの理解がさらに深まる内容であればいいなと思います。

7. その他, ご意見等

- ・ 看取りに対して多職種で関わっていくことによる大切さが再認識できて良かったです。ありがとうございました。
- ・ 今までの研修の中で一番よかったと思います。Drの思いを聞いたことが一番良かったです。
- ・ 介護福祉士が参加できる研修会を企画してほしいと思います。
- ・ 開場の室温が寒く感じました。室温に応じた温度調整をお願いしたいです。とにかく時間が短かったので、もっと有意義に充実した話し合いや意見交換ができればと思います。
- ・ 他の施設の方とお話できて良かったです。
- ・ もう少しグループからの発表が聞けるようにしてほしい。
- ・ 様々な職種, 院所の方々と顔を合わせ意見を共有することは大事だと改めて感じた。
- ・ 「看取り」に対して, 病院全体の意識を変えていくために努力していかなければと感じた。
- ・ 質問できなかったこともあると思うので, グループワーク②の質問で返答されていないものをどこかで知りたい。
- ・ 多職種に関わる研修会として, 多種多様な職種が多く参加することができることは, とても有意義に感じます。ありがとうございます。
- ・ とても良い時間を過ごせました。ありがとうございます。
- ・ グループワークの流れがプリントで配布されていれば助かります。
- ・ これから医療ケアの多い方の在宅支援を行う予定です。本日のシンポジウムやグループワークで学んだことを参考にさせていただきたいと思います。ありがとうございました。
- ・ グループワークの時間がもう少しあると良いかと思いました。
- ・ 今回初めて参加させていただきました。こんなに沢山のの方々, 多職の方々が, より良い連携を考えているのだとわかり, 自分も頑張りたいと思いました。次回も参加させていただきたいと思います。
- ・ ICT。
- ・ 素晴らしい研修会だと思います。今後も続けてほしいです。もう少し若い方の参加も望みます。
- ・ こういった多職種での研修会の回数をもっと増やしてほしい。今回初参加でしたが, とても良い経験をさせていただきました。
- ・ 普段は接することのない内容なので, ためになりました。
- ・ 看取りについては経験がないので, 大変勉強になりました。
- ・ 医療・介護に関わる全職種の参加を希望します。
- ・ グループワークの時間がもう少し長い方がありがたいです。
- ・ 今後も続けてもらいたいです。準備等お疲れさまでした。
- ・ 看取りについても多職種の連携の大切さを実感することができた。とても勉強になりました。
- ・ 普段聞けないことを聞くことができました。ありがとうございます。
- ・ いつも同じ顔ぶれでマンネリを感じます。
- ・ Dr, Nsと関わりが以前よりスムーズになった気がします。準備等お疲れさまでした。とても良い内容でした。ありがとうございます。
- ・ 前段の各Drの話がもう少し長くてもよかった。かけ足の説明だったので。
- ・ グループに様々な職種の方がいて, 活発に意見をかわすことができた。とても勉強になりました。ありがとうございました。
- ・ とても良い内容でしたが, 医師だけでなく, NsやCMなど他の職種のシンポジストもいたら, もっと理解が深まるのではと感じました。
- ・ 看取りに限らず, 在宅医療, 在宅介護を支える体制や心意気は札幌などよりもしっかりしていると聞きます。これを持続させていけるようであってほしいと切に希望します。
- ・ グループワークの進行の説明がよくわからなかったが, ファシリテーターにアドバイスいただきながら, グループメンバーにも助けられ, なんとかできました。シンポジストの先生方の話も聞けて大変良い研修でした。
- ・ Drの話を聞ける機会があまりなく, 参考になりました。

- ・ 看取り事例を通して、多職種の役割について共有したかった。
- ・ 老松先生のお話の中で紹介された看取りの利用者様について、年齢がお若く、ご自分の意思、ご家族の意向を大事にしてもらってよかったなと思いました。
- ・ この会に参加する方たちは連携の大切さ等わかっていらっしゃると思いますが、なかなか連携のとりにくいDrもいらっしゃる、セカンドオピニオンが難しいこともあります。主治医からの情報が無くとも、セカンドオピニオンができるようになるとういと思います。(以前に比べ、連携がとりやすくなってきていることを感じます)
- ・ 経験が少ないので大変勉強になりました。先生方の熱意が感じられました。
- ・ ありがとうございました。
- ・ 介護職は医療への苦手意識がなくなるように努力するべきだと思います。医療職は介護(生活)の場を知ることが必要だと思います。
- ・ グループワークの進め方がわかりにくいように感じました。
- ・ 会場に来たときには、医師、歯科医師も参加しており、一瞬「場違いなところに来てしまった」と思いましたが、話を聞くことができ、勉強になり、また、楽しい時間でした。ありがとうございました。
- ・ グループワークの時間を長くしてほしい。
- ・ 今日話を聞いた医師が担当の医師だと、互いに良い連携が組めるのになと思いました。
- ・ 看取りに関わる機会がなかったからこそ聞けなかった部分について、お話やご意見(多職種の)を聞くことができ勉強になった。
- ・ 歯科と看取り、今まで縁のない分野であったが、最期に食べることに関われる職種であることを確認できました。死は特別なことではないこと。
- ・ 歯科衛生士による口腔ケアが、本人や家族の気持ち、部屋のにおいも変化させるという話を聞かせていただき、歯科の看取りへの関わりを改めて認識しました。
- ・ 付箋小さめ。少し読みづらかったです。貴重なお話ありがとうございます。
- ・ 相当早く来たのですが、駐車場にとめられませんでした。
- ・ 多職種の皆さんとの話し合いはとても勉強になります。また参加したいです。
- ・ いつもお忙しい中、本当にありがとうございました。
- ・ ホームページってあるのか？あったらいいと思う。
- ・ 会場の温度が高い。(密度が高いせいか)
- ・ 意見を考え、発表するグループワークの時間が短く、バタバタとなった。
- ・ 今までリハビリで看取りまで関わった経験がなく、知らないことが多く、今回の研修会で少し理解ができました。「患者と家族のコミュニケーションを深める」という点は、今関わっている方でもお手伝いできることなので、行いたいと思います。
- ・ 第1回から参加させていただいてますが、やはりこの研修の魅力は、普段の業務で関わりの少ない職種とも交流が深められ、様々な意見を聞いて視野を広められる所にあると思います。今回は聴講席での参加となりましたが、参加にあたってはできる限りグループワークもあつての参加がみなさんにあると良いかと感じております。
- ・ 栄養士としてできることをやっていきたいです。
- ・ 医師の参加が増えてきていることがすばらしいと思います。
- ・ 最初からグループワークに参加できれば良かったなと思いました。途中からだ入りにくいなと思います。
- ・ 人数が多く、参加者を制限したらどうでしょう？駐車場確保できず大変でした。地域等で2回に分けて行うこともどうでしょうか？医療関係者も大変でしょうが宜しくお願いします。
- ・ 参加者や座席表の配布、名前と顔が一致できるので話しやすい。
- ・ ためになるお話を聞くことができ、とても良い機会をいただきました。ありがとうございました。
- ・ 看取りのとき、家族はどういうことを言ったか、スタッフはどういう声掛けと対処をしたか、ご本人は死が近づいたときどういうことを言ったか、希望は言ったのか、もっと詳しい事例を聞きたかった。
- ・ 多職種で高齢者社会を支えていく必要がある。今後の仕事につなげていきたい。

- ・ 普段ターミナルケアに関わっているDrから直接お話を聞いて大変参考になりました。自身も在宅ケアマネ時に医療機関とどうすれば上手くコミュニケーションがとれるかを課題にしていたので、今日の話聞いて少し勇気が出ました。
- ・ 今日は大変参考になりました。今後もよろしくお願いします。
- ・ 看取りケアについて大変勉強になりました。ありがとうございました。
- ・ 私は看取りの経験はありませんが、今回の研修会は勉強になり、また、大変考えさせられました。
- ・ 私は訪問治療を行っていませんので、今回は傍聴という立場で、初めて参加させていただきました。人として最期を迎える方のお気持ちに寄り添うことができるのかわかりませんが、そのような経験をされている方のお話は、心に響くものでした。
- ・ 病院、施設と様々な看取りの話聞いて良かったです。
- ・ 「看取り」できる環境を少しずつでも拡大していきましょう！
- ・ 在宅での看取りについて、電動ベッドやエアマットの必要性が高いと思われませんが、医療と介護の連携という観点から、福祉用具についてまったく触れられていなかったのが残念です。
- ・ ディスカッション、楽しかったです。